

**Publication number:** JP2001134507 A2  
**Publication country:** JAPAN  
**Publication type:** APPLICATION  
**Publication date:** 20010518  
**Application number:** JP19990315683  
**Application date:** 19991105  
**Priority:** JP19990315683 19991105 ;  
**Assignee:** HITACHI KOKUSAI ELECTRIC INC ;  
**Assignee<sup>std</sup>:** HITACHI INT ELECTRIC INC ;  
**Inventor<sup>std</sup>:** KAWAKAMI RYOTA ;  
**International class<sup>1-7</sup>:** G06F13/00 ; G06F17/30 ; H04L12/54 ; H04M11/00 ; H04Q7/38 ;  
**International class<sup>8</sup>:** G06F13/00 20060101 I C ; G06F13/00 20060101 I A ; G06F17/30 20060101 I C ; G06F17/30 20060101 I A ; H04L12/54 20060101 I C ; H04L12/54 20060101 I A ; H04M11/00 20060101 I C ; H04M11/00 20060101 I A ; H04Q7/38 20060101 I C ; H04Q7/38 20060101 I A ;  
**Title:** RADIO TELEPHONE SET  
**Abstract:** PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically transmit selected personal information in electronic mail format to a telephone call partner only by adding a tiny device to a conventional radio telephone set. SOLUTION: When a telephone connection state is entered and a user is asked about personal information on a 3rd person including the user oneself, the user retrieves the personal information on the target person by using a personal information retrieval button 5a of an operation part 5. Then the necessary personal information is retrieved from a format which is previously stored in a data part 8 and registered in the format of personal information data. In this format, telephone numbers and electronic mail address data for every personal information are registered. When corresponding personal information is detected by respective functions of a control part 3, the user presses a personal information mail transmission button 5b of the operation part 5. Consequently, an automatic transmitting process 3f of the control part 3 operates to send the desirable personal information to the recipient immediately.  
  
**Cited by:** EP1441555 A1 ; US7346342 BB ; WO03034769 A1 ;

---

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-134507  
(P2001-134507A)

(43) 公開日 平成13年5月18日 (2001.5.18)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマート* (参考)
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 1 G 5 B 0 7 5
17/30		H 0 4 M 11/00	3 0 2 5 B 0 8 9
H 0 4 Q 7/38		G 0 6 F 15/40	3 7 0 Z 5 K 0 3 0
H 0 4 L 12/54		H 0 4 B 7/26	1 0 9 H 5 K 0 6 7
12/58			1 0 9 M 5 K 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平11-315683

(22) 出願日 平成11年11月5日 (1999.11.5)

(71) 出願人 000001122

株式会社日立国際電気

東京都中野区東中野三丁目14番20号

(72) 発明者 川上 亮太

東京都中野区東中野三丁目14番20号 国際  
電気株式会社内

(74) 代理人 100097250

弁理士 石戸 久子 (外3名)

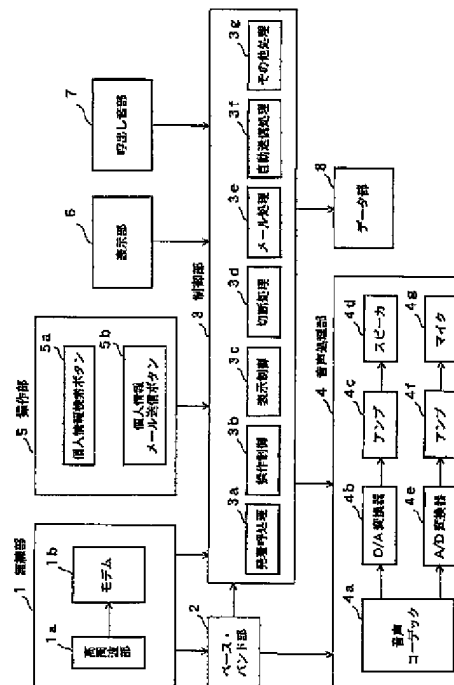
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 無線電話機

(57) 【要約】

【課題】 従来の無線電話機に僅かな装置を付加するだけで、選択された個人情報を、電子メール形式にて自動的に通話相手に送信できるようにする。

【解決手段】 通話状態が確立して、通話中に通話相手から自分も含めた第三者の個人情報を訊ねられると、ユーザは、操作部5の個人情報検索ボタン5aを用いて、検索したい相手の個人情報を検索する。すると、データ部8に予め格納されている、個人情報データの形式で登録されているフォーマットから、必要な個人情報が検索される。このフォーマットには、1個人情報毎の電話番号や電子メールアドレスデータなどが登録されている。制御部3の各機能によって、該当する個人情報が検出されると、ユーザは、操作部5の個人情報メール送信ボタン5bを押下する。これによって、制御部3の自動送信処理3fが働き、所望の個人情報は直ちに通話相手に送信される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 個人情報の検索、登録および削除が可能な無線電話機において、前記個人情報を検索する為の個人情報検索手段と、検索した個人情報を電子メールにて一括して送信するための個人情報メール送信手段とを備え、通話中あるいは通話終了直後に、前記個人情報メール送信手段を操作することによって、検索した前記個人情報を電子メール形式で編集する編集機能と、編集された前記個人情報を添付し、通話相手に対して電子メール形式で送信する送信機能と、によって構成されることを特徴とする無線電話機。

【請求項2】 前記個人情報は、電話番号又は電子メールアドレスの少なくとも一つを含み、前記電話番号又は前記電子メールアドレスが送信される電子メール形式は、ショートメールを含むことを特徴とする請求項1に記載の無線電話機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電話番号や電子メールアドレス等の個人情報の検索、登録および削除が可能な無線電話機において、自分を含めた第三者の個人情報を電子メール（ショートメール等も含む）に添付し、通話相手に対し、これを自動的に送信することのできる無線電話機に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、無線電話機などによる個人情報といえば主に電話番号であったが、最近では、インターネットの爆発的な普及に伴ない、電子メールアドレスも電話番号と同様に重要な個人情報となってきている。したがって、これらの個人情報を他人に教える機会も多くなってきている。特に、自分の無線電話機に予め登録されている自分を含めた第三者の個人情報を、通話中に、通話相手より聞かれることも多くなっている。このようなときは、従来、自分の無線電話機の個人情報リストより検索を行い、口答によって通話相手に個人情報を教えている。

【0003】ここで、従来技術による無線電話機を使用した個人情報の送信処理について説明する。図6は、従来の無線電話機の構成を示すブロック図であり、図7は、従来の無線電話機によって個人情報を伝達する時の、ユーザが行う処理の流れを示すフローチャートである。したがって、図6と図7を用いて、従来の無線電話機による個人情報伝達の処理の流れについて説明する。尚、図6では無線電話機全体の構成を示しているが、以下の説明では、個人情報の伝達処理に関わる部分のみにして述べる。

【0004】通話中において、まず、操作部5'の個人情報検索ボタン5aを用いて、検索したい相手の個人情報を検索する（ステップS1）。すると、制御部3'及

びデータ部8の処理によって検索相手の個人情報が分かり、表示部6のディスプレイにその個人情報が表示される。ユーザはディスプレイに表示された個人情報を見て、このデータを覚えるかメモをとる（ステップS2）。さらに、その個人情報は、口答にて、音声処理部4のスピーカ4dによって相手に伝えられる（ステップS3）。このとき、例えば、携帯電話機の電話番号などは11桁程度であるので、2、3回に分けて確認しながら伝えられる。そして、全データの通知が完了するまでこれが繰り返される（ステップS4）。このようにして、個人情報の伝達が終了すると、通常の通話状態に入る。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、個人情報として無作為に並んだ数字又は文字については、一度に覚えられ桁数は、個人差にもよるが、一般には4〜5桁である。したがって、メモを取らないでこれらの個人情報を伝える場合は、ディスプレイに表示されている番号を2、3回確認しながら、通話相手に伝えるという操作を繰り返す必要があり、非常に手間がかかるなどの使い勝手の悪さがある。さらに、このような操作を繰り返している間に、必要以上に通話時間が長くなってしまふ場合がある。すなわち、従来技術の無線電話機においては、通話中に通話相手に対して電話番号等の個人情報を教えるのに手間がかかり、その分、余計に通話料がかかってしまうなどの問題がある。

【0006】このような問題を解決するために、例えば、特開平7-66905号公報には、音声とデータを同時に送受信できる通信装置において、音声と並行して自己のIDを送信し、相手の応答ID待ってID照合を行い、ID不適合やID応答が無い場合は、音声通話のみを可能とする技術が開示されている。この技術によれば、通信相手を確認して、個人情報などのデータを自動的に相手に送信することができるので、セキュリティと使い勝手の良さを兼ねている。

【0007】しかし、このような通信方式は、音声とデジタルデータを時分割あるいはダブルキャリアなどの手法によって伝送するためのモデムを用いなければならない。したがって、無線電話機とパーソナルコンピュータとの通信などには適しているが、無線電話機相互間の通信には適していない。

【0008】本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、従来の無線電話機に僅かな装置を付加するだけで、選択された個人情報を、電子メール形式にて、自動的に通話相手に送信することのできる無線電話機を提供することにある。

## 【0009】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、本発明の無線電話機は、個人情報の検索、登録および削除が可能な無線電話器において、個人情報を検索

する為の個人情報検索手段と、検索した個人情報を、電子メールにて一括して自動送信するための個人情報メール送信手段とを備え、通話中あるいは通話終了直後に、個人情報メール送信手段を操作することによって、検索した個人情報を電子メール形式で編集する編集機能と、編集された個人情報を添付し、通話相手に対して電子メール形式で送信する送信機能とによって構成されることを特徴とするものである。

【0010】また、本発明の無線電話機において、前記個人情報、電話番号又は電子メールアドレスの少なくとも一つを含み、前記電話番号又は前記電子メールアドレスが送信される電子メール形式は、ショートメールを含むことを特徴とするものである。

【0011】すなわち、本発明の無線電話機において、ユーザは、通話相手から第三者の電話番号や電子メールアドレスなどの個人情報を訊ねられたとき、個人情報検索手段、例えば、個人情報検索ボタンを押す。すると、自分の無線電話機に予め登録されている個人情報が自動検索され、必要な情報のみが自動編集される。そして、自動編集された個人情報は、自分の無線電話機のディスプレイに表示されるので、ユーザは、これを確認するだけで、個人情報メール送信手段、例えば個人情報メール送信ボタンを押すと、その個人情報は直ちに通話相手に伝送される。したがって、個人情報を間違えて伝える虞もなくなり、また、個人情報を伝える時間も短縮されるので、通話料金を節約することができる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の無線電話機における個人情報メール送信機能について、図面を用いて詳細に説明する。図1は、本発明の無線電話機の構成を示すブロック図である。尚、図6に示す従来の無線電話機と同一部分は同じ符号を用いている。本発明の無線電話機が、従来の無線電話機に対して付加されている部分は、操作部5の個人情報メール送信ボタン5bと、制御部3の自動送信処理3fである。

【0013】したがって、この無線電話機は、無線部1と操作部5と表示部6と呼出し音部7と、これらを制御する制御部3と、ベース・バンド部2と、音声処理部4と、データ部8とによって構成されている。また、無線部1は高周波部1aとモデム1bを備え、操作部5は個人情報検索ボタン5aと個人情報メール送信ボタン5bを備えている。さらに、制御部3は、発着呼処理3aと操作制御3bと表示制御3cと切断処理3dとメール処理3eと自動送信処理3fとその他の処理3gとを行う。また、音声処理部4は、音声コーデック4aとD/A変換器4bとアンプ4c、4fとスピーカ4dとA/D変換器4eとマイク4gとによって構成されている。

【0014】本発明の無線電話機において、図6の従来技術の無線電話機と同じ構成のところは通常知られている技術であるので、その説明を省略して、本発明の個人

情報の送信機能に関する部分についてフローチャートを用いて詳細に説明する。図2は、本発明の無線電話機によって電子メールで個人情報を伝達する時の、ユーザが行う処理の流れを示すフローチャートである。すなわち、通話状態が確立して、通話中に通話相手から自分も含めた第三者の個人情報を訊ねられると、ユーザは、操作部5の個人情報検索ボタン5aを用いて、検索したい相手の個人情報を検索する(ステップS11)。

【0015】すると、図5に示すような個人情報データの形式で登録されているフォーマットから、必要な個人情報が検索される。このフォーマットには、1個人情報毎のデータが登録されており、例えば、電話番号や電子メールアドレスや個人の名前などが登録されている。そして、該当する個人情報が検出されると、ユーザは、操作部5の個人情報メール送信ボタン5bを押下する(ステップS12)。これによって、ユーザは通話相手に所望の個人情報を送信することができる。

【0016】図3は、本発明の無線電話機において、制御部の個人情報メール送信機能が行う処理の流れを示すフローチャートである。したがって、この図を用いて個人情報伝達時の処理の流れをさらに詳しく説明する。先ず、通話確立時に、通話相手の電話番号をデータ部8の内部に一時保管しておく(ステップS21)。そして、通話中に、通話相手より自分も含めた第三者の個人情報を訊ねられると、ユーザは、操作部5の個人情報検索ボタン5aを用いて、検索したい相手の個人情報の検索を開始する(ステップS22)。

【0017】ここで、個人情報のフォーマットは、前述のように、図5に示すような形式で登録されている。そして、該当する個人情報が検出されると、ユーザは、操作部5の個人情報メール送信ボタン5bを押下する。すると、制御部3の内部処理であるメール処理3eが起動し、検索された個人情報に基づいて、図4に示すようなフォーマットで個人情報メールが自動的に作成される。

【0018】この個人情報メールの自動生成手順は次のように行われる。すなわち、制御部3のメール処理3eによって、データ部8に一時保管されていた通話相手の電話番号に基づいて送信アドレスの検索が行われる。いかにいけば、個人情報メールの送信先アドレスは、通話成立時の通話相手の電話番号を検索キーとして、自分の無線電話に予め登録されている図5に示す個人情報データより、通話相手の電子メールアドレスを自動検索して、図4の、“TO:”の項目に示すような情報が自動的に設定される(ステップS23)。

【0019】ここで、通話相手の電話番号が自分の無線電話機に登録されているか否かの判定が行われ(ステップS24)、自分の無線電話機に登録されていない場合は(ステップS24、Y)、送信先未確定である旨のメッセージを表示部6に表示し(ステップS32)、編集

中の個人情報メールや通話相手の電話番号データを破棄し(ステップS31)、通常の通話状態に戻す。

【0020】一方、ステップS24において、通話相手の電話番号が自分の無線電話機に登録されていれば(ステップS24、N)、個人情報メールのタイトル部には、図4の“Sub:”の項目に示すように、“Personal information”のような固定文が自動的に入力される(ステップS25)。そして、図4の“本文:”の項目の部分に、検索された個人情報データがコピーされる(ステップS26)。

【0021】以上のようにして個人情報メールの編集が終わると、制御部3の自動送信処理3fにより、自分の無線電話機がメール送信可能な状態にあるか否かのチェックが行われる(ステップS27)。そして、使用している無線電話機が、複数呼を同時に確立できるマルチコール機能を備えた端末、例えば、W-CDMA端末であれば、通話中でも個人情報メール送信が可能なので(ステップS27、Y)、使用可能な回線を使用して、先に編集した個人情報メールを送信する(ステップS29)。

【0022】一方、使用可能な回線が無い場合、または使用している無線電話機がマルチコールできない端末の場合は(ステップS27、N)、編集した個人情報メールはすぐには送信されず、編集した個人情報メールはデータ部8の内部に一時保管されて通話の終了を待つ(ステップS28)。そして、通話が終了した直後の通信可能な状態において、先にデータ部8に保管した個人情報メールを通話相手に送信する(ステップS29)。

【0023】このようにして送信が完了すると、表示部6に送信完了メッセージが表示され(ステップS30)、一時待避した通話相手の電話番号データや、一時保管した個人情報メールデータを破棄して(ステップS31)、処理が終了となり、通常の通話状態となる。尚、通話終了直後に、個人情報メールを送信するように選択した場合、無線電話器の状態は待受け状態となるものとする。また、送信される電子メール形式にはショートメールも含むものとする。

【0024】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の無線電話機によれば、ユーザが伝達情報をいちいち確認しながら個人情報を送信する作業が無くなるために、個人情報の伝達ミスが無くなる。さらに、口答で個人情報を伝える場合に比べて、伝達作業の簡略化が図れるため、無線電話機の操作性が向上し、使い勝手がよくなる。また、口答で個人情報を伝える場合より接続時間が短縮されるた

め、通話料を節約できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の無線電話機の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の無線電話機によって電子メールで個人情報を伝達する時の、ユーザが行う処理の流れを示すフローチャートである。

【図3】本発明の無線電話機において、制御部の個人情報メール送信機能が行う処理の流れを示すフローチャートである。

【図4】本発明の無線電話機に自動的に作成される、個人情報メールのフォーマットの一例である。

【図5】本発明の無線電話機において、個人情報データの形式で登録されているフォーマットの一例である。

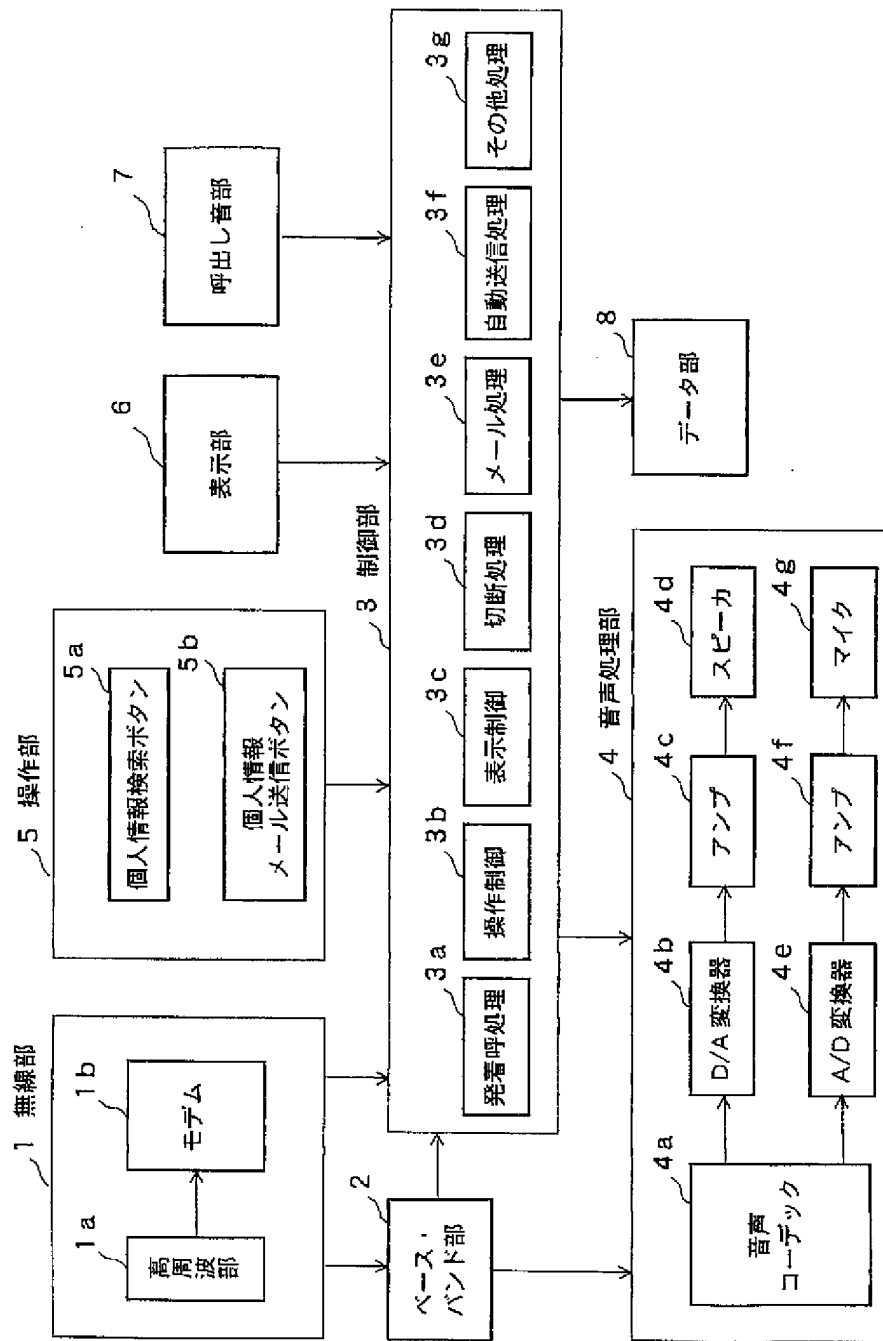
【図6】従来の無線電話機の構成を示すブロック図である。

【図7】従来の無線電話機によって個人情報を伝達する時の、ユーザが行う処理の流れを示すフローチャートである。

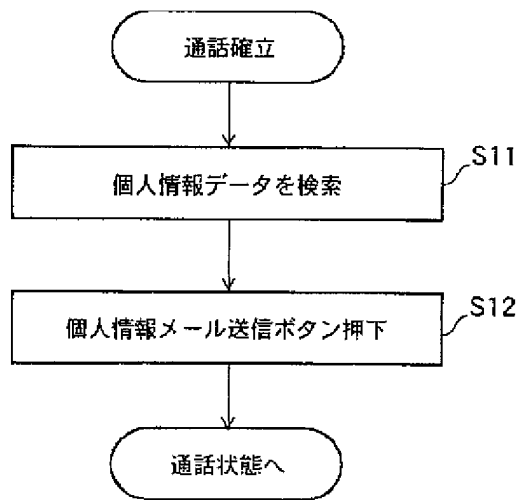
【符号の説明】

- 1 無線部
- 1a 高周波部
- 1b モデム
- 2 ベース・バンド部
- 3、3' 制御部
- 3a 発着呼処理
- 3b 操作制御
- 3c 表示制御
- 3d 切断処理
- 3e メール処理
- 3f 自動送信処理
- 3g その他の処理
- 4 音声処理部
- 4a 音声コーデック
- 4b D/A変換器
- 4c、4f アンプ
- 4d スピーカ
- 4e A/D変換器
- 4g マイク
- 5、5' 操作部
- 5a 個人情報検索ボタン
- 5b 個人情報メール送信ボタン
- 6 表示部
- 7 呼出し音部
- 8 データ部

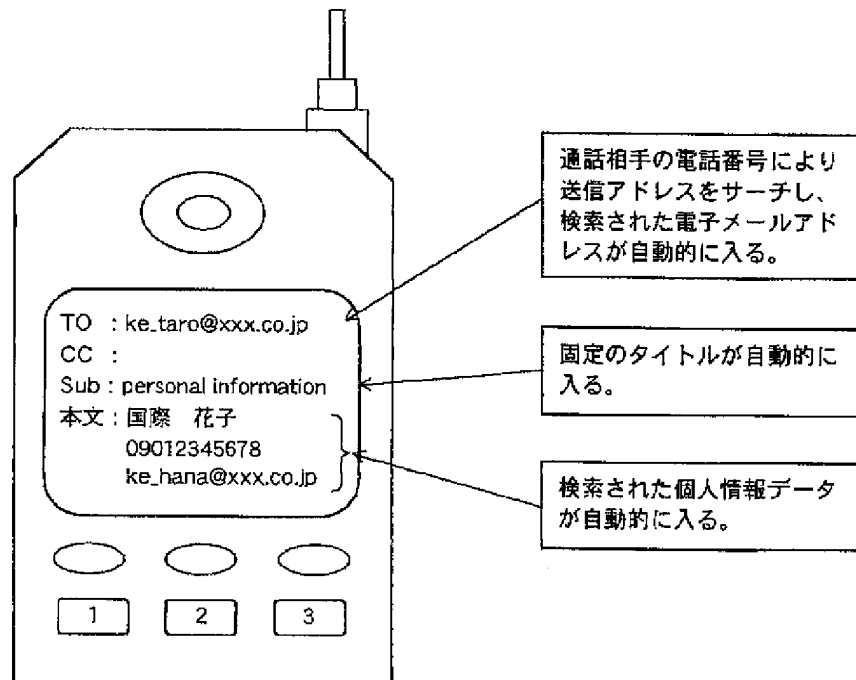
【図1】



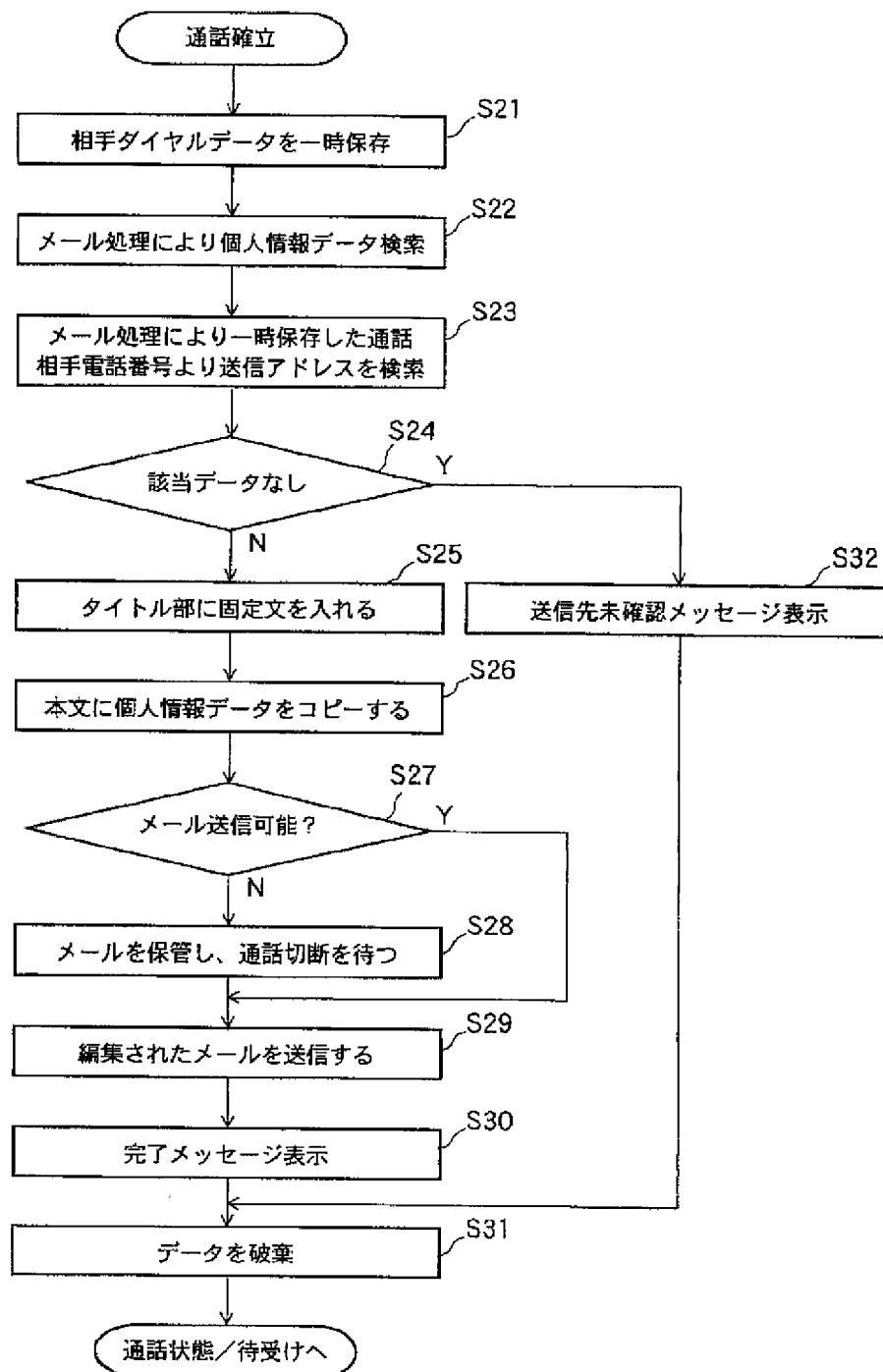
【図2】



【図4】

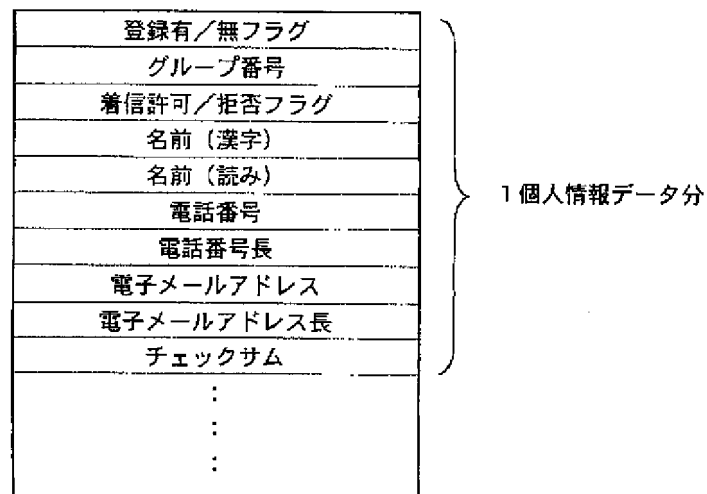


【図3】

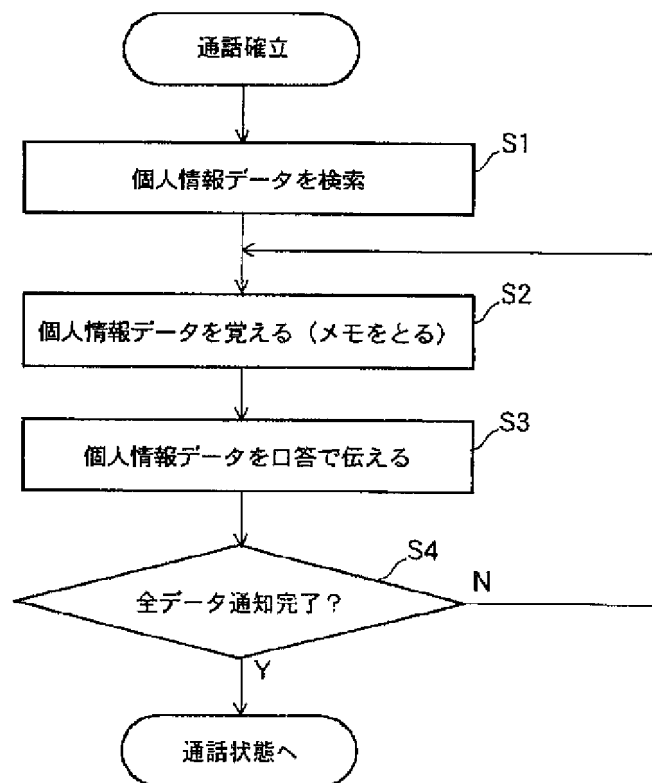




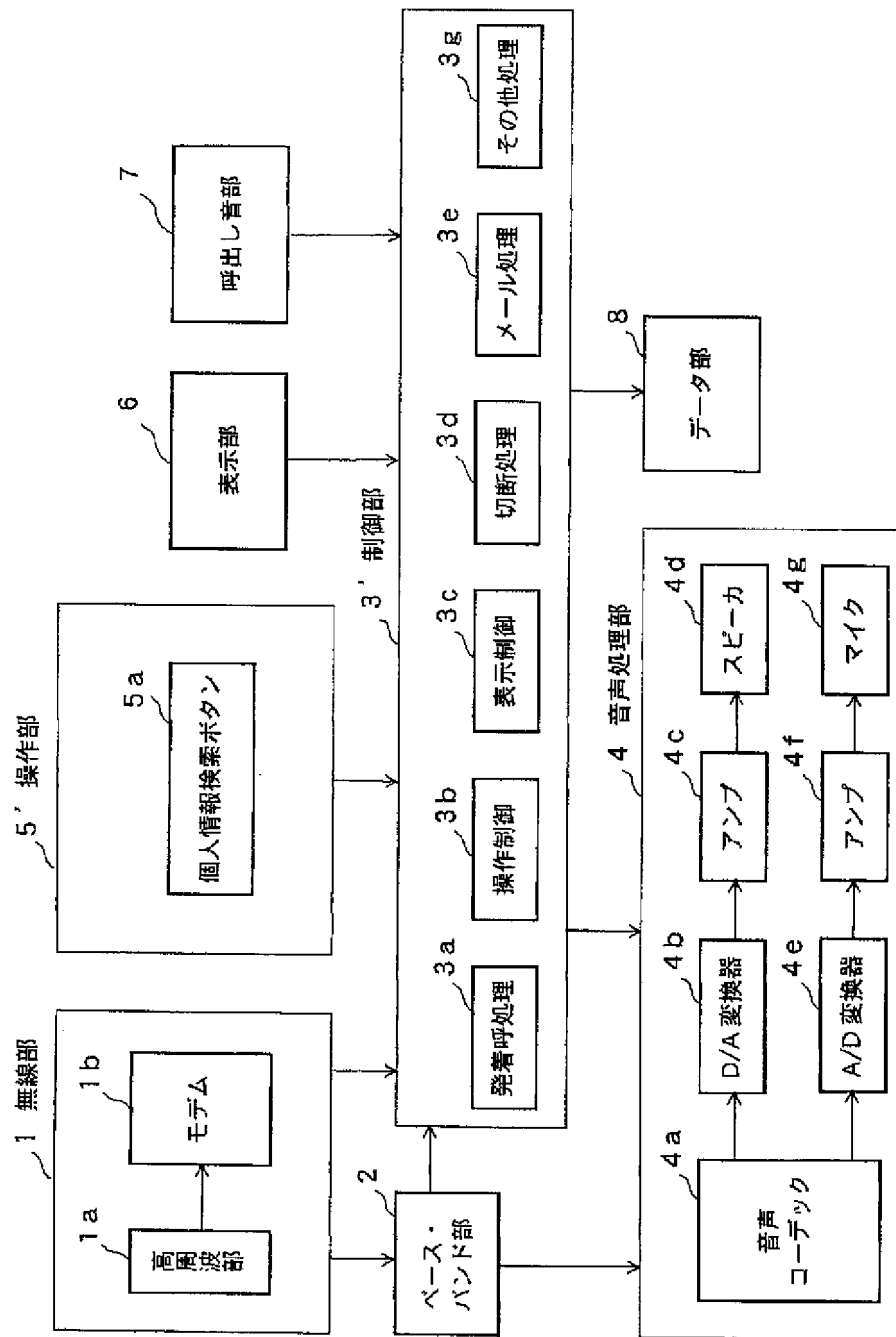
【図5】



【図7】



【図6】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

H04M 11/00

識別記号

302

FI

H04L 11/20

ページ (参考)

101B

Fターム(参考) 5B075 ND20 PQ05 UU08  
5B089 GA25 JB22 KA01 KA16 KC44  
LA01 LA19 LB14  
5K030 HA06 JL01 JT01 JT09 LD17  
5K067 AA34 BB02 BB21 DD51 EE02  
FF02 GG01  
5K101 KK02 KK16 LL12 NN02 NN18  
NN21 PP04 TT06